

「大阪維新の会 箕面」の市議6名は、今夏の選挙公約「身を切る改革」を真っ先に果たす為、選挙後初の9月議会に議案を提出しました。これに対し、共産党等も対案を示しました。



神代 しげちか



尾上 かつのり



幹事長 武智秀生



今木 晋一



尾崎 夏樹



堀江 ゆう

	内容	削減効果/年
①維新の提案	議員定数削減4人分と政務活動費廃止	約6670万円
②共産党等の提案	議員報酬の6%カット	約1445万円

①と②の効果額の差は明らかで、維新提案による削減額は、住民サービスのさらなる向上に充てる事が出来ます。

大阪府域の同規模の市(類似団体)との比較

市名	人口	定数	人口比
箕面市	13.5万人	23人	5869人に1人の割合
富田林市	11.5万人	19人	6052人 //
大東市	12.4万人	17人	7294人 //
羽曳野市	11.5万人	18人	6388人 //
松原市	12.3万人	18人	6833人 //
守口市	14.3万人	22人	6500人 //
河内長野市	11万人	18人	6111人 //

箕面市議の数は府域の同規模の市と比べても多く、現在の23人から19人に削減する事は妥当であり、議会運営上も無理はありません。また、維新の提案は政務活動費を廃止して、議員の調査研究活動は自らの報酬で賄う覚悟を示しました。

何よりも大事な目的は議員自ら身を切る改革を率先して行い、市民の為の行財政改革、公務員制度改革等を本気で実践する事です。9月議会では、議案継続となりましたが、他にも定数削減等を選挙公約に掲げた議員はいるので、箕面市議会らしい賢明な解決を望みます。



平成28年5月 新名神高速道路建設中の事故現場を検証



平成28年9月 府庁にて松井知事と意見交換

※大阪府議会議員 上島一彦の取り組み

大阪府議会は報酬3割削減にもかかわらず、平成23年春の選挙後、競争率が全国1位となったので、以前にあった無投票当選が無くなり、難関を突破してきた質の高い議員が増えました。維新が単独過半数を得た改選後の初議会で、定数2割削減も実現出来ました。やれば出来ます！

- ・北大阪急行線延伸事業で、府負担金100億円を引き出す。
- ・箕面グリーンロードで、月8500円(普)定期券の導入。
対距離制料金導入で@410円→380円に。
- ・箕面森町に住民待望のスーパーを誘致。
- ・府道 桜井停車場線の歩道整備と、踏切拡幅を実施。
- ・関西広域連合に呼び掛け、「2025年 大阪万博」の誘致促進。
- ・広域大規模災害に即応出来る「大阪消防庁」の実現等。